

問合わせ先
第八管区海上保安本部海洋情報部
海洋調査課長 熊川 浩一
TEL 0773-75-7373(直通)

第八管区海上保安本部
平成23年1月27日

冬から初春は年間で最も低潮になります。

毎年、1月から4月の大潮期は、海水面が年間のうちで最も低くなります。

夏期は、これとは逆に年間を通じ最も高くなります。山陰沿岸部では、夏期と比べ冬期の平均的な海水面は約35cm前後低い状態で推移しています。

海水面低下の原因には、海水温低下による海水の体積縮小や気圧配置による海面低下などいくつかあげられます。

海水面が年間のうちで最も低くなる時期のうち、水深の基準面（最低水面）よりさらに低くなる場合があります。マイナス潮位^(*1)と呼ばれています。また、気象などの条件により、予報値よりさらに海面が低下する場合があります。普段見慣れている浅瀬が海面上に現れたり、係留している船舶から岸壁までの高さが高くなったりします。

(資料1、2参照)

冬から初春の新月・満月の頃は、年間で最も潮位が低くなる時期で、海岸線付近や浅瀬を航行する船舶は、岩や浅瀬への乗り揚げ、また、係留船舶は岸壁高を考慮した係船に十分な注意が必要です。

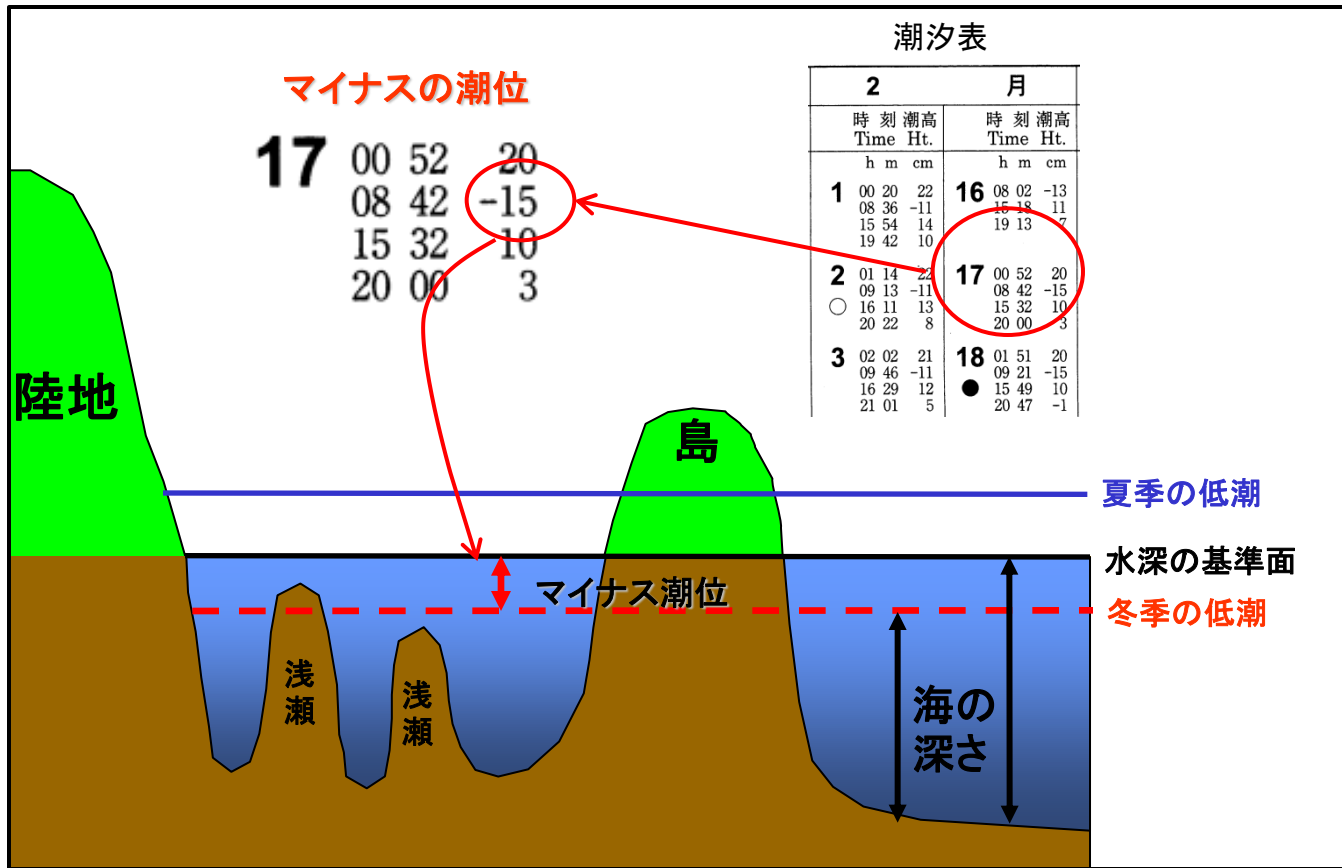
*1 海上保安庁刊行の潮汐表の潮高（予報値）がマイナスの数値で表示されています。
一般的に気圧が高くなると潮高が低くなり、気圧が低くなると潮高が高くなります。

※ 第八管区海上保安本部では、プレジャーボートなどの小型船舶の運航者への安全情報として、また、釣りなどのマリンレジャー愛好者の方々への支援情報として、潮位データを、リアルタイムでホームページに公開しています。

第八管区海上保安本部海洋情報部ホームページ
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/index.html>

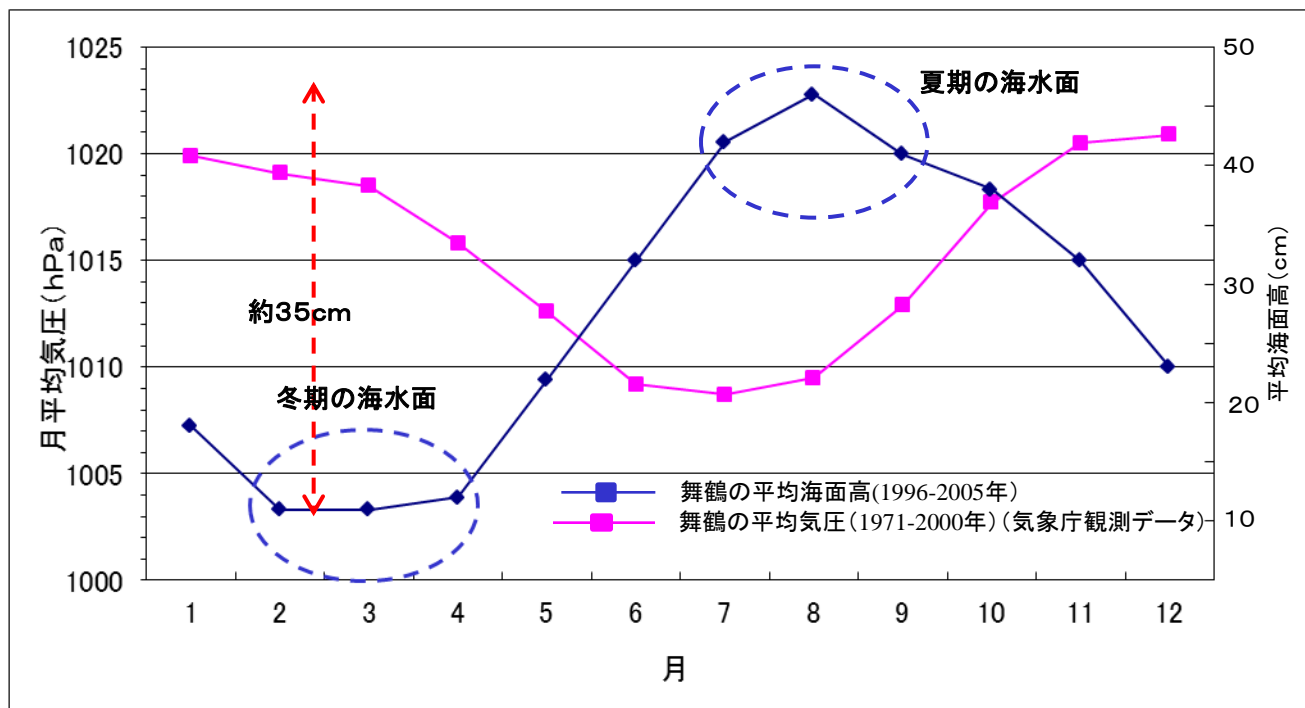
携帯サイトリアルタイム潮位情報Web アドレス
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/keitai/tide/index.html>

冬と夏の潮位関係図

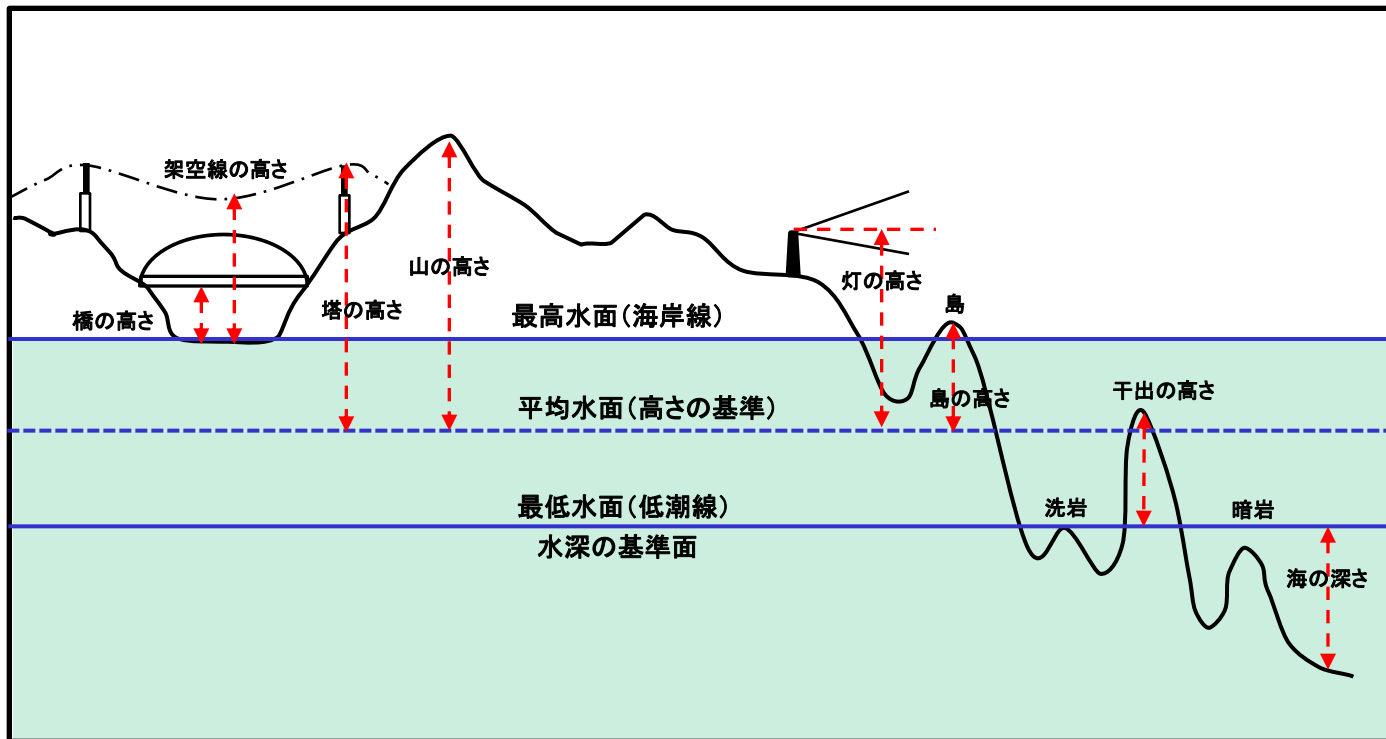


水深の基準面：最低水面と言う。海面がほぼ最低の高さを示す位置。

舞鶴の海面高と海面気圧



水深や高さの基準



海図に記載された水深や高さ

